



3年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

小学校3年生 “Fun” Time I



「数えてみよう(パート2):

1~20までの数を使って、分かった数をつたえあおう

1. あてはまるところを ○ でかこみましょう。

今日のファンタイムは楽しかったですか。



今日の活動の中で聞いたえい語がよく分かりましたか。



2. 今日のファンタイムでは、えい語でどんなことをつたえることができましたか？

3. これから、えい語を使ってどんなことをやってみたいですか？



小学校3年生 “Fun” Time I-①

Plan 1	数えてみよう! (Part 1)
目標	既に慣れ親しんだ英語表現(1~20の数)を聞いたり、いくつあるかを想像して伝える。
主な言語材料	hello, how are you? I'm (happy, good, great, fine), 1-20, how many?
準備物・教材	・1~20までの数字のカード(黒板掲示用)、 ・ビー玉かおはじき(その代替物)30~40個、 ・それを入れる袋・封筒3枚 ・ビンゴシート(画用紙に印刷)・色鉛筆・鉛筆
活動場所	教室
配時	45分

時間	活動	詳細・教師の英語	準備物																
1	あいさつ	“Hello! Let’s have a FUN time!”																	
4 (5)	数のおさらい	・黒板に1枚ずつ貼っていきながら、児童と一緒に数の英語をおさらいする。 ・うまく言えないような場合は、数回繰り返して言わせる。 ・20枚を黒板に貼ったら、ランダムに指しながら、学級全員に言わせる。	1~20の数字のカード																
15 (20)	How many?	(事前に、3つの袋にランダムにビー玉を入れておく。それぞれの数がバラバラになるように、多いもの、少ないものを作る。1袋には20個以上入れない) “Look at these.” ・3つの袋を児童に見せ、振って中身の音を聞かせたりして、中に何が入っているかを想像させる。1つの袋の中からビー玉を1つ取り出して見せ、それらがいくつか入っていることをわからせる “How many?”と言いながら、一つの袋を振ってみせる。 “One, two, three? How many?” と言って、児童に、中身のビー玉の数を当てさせるようとしていることに気づかせる。児童が口々に数を言い出すので、いくつかの班に分かれて、班で考えて数を言わせる。 ・1袋ごとに“How many?”で想像した数を、班ごとに言わせて、黒板に書いておく。1袋ずつ、中からビー玉を取り出して、児童と一緒に数えていき、正解の数を板書する。 ・3つの袋で全部同様にし、答えを確認し、よくできたことを褒める。	・ビー玉かおはじき ・それを入れる袋・封筒3枚																
20 (40)	Number Bingo	“Okay, Let’s play BINGO!” ・児童に鉛筆か色鉛筆を出させ、ビンゴシートを配布する。 ・1から20までの数をランダムにビンゴシートに書くように言う。 ・全員が書き終わったのを確認して、“Okay, let’s play number BINGO!” ・1~20までのカードを見えないようにして、1枚引き、その数を大きな声で言い、聞こえた数に○をつけるように言う。何の数字だったかを尋ねて確認する。(“What number?”)児童の言った数を確認してカードを黒板に貼る。 ・順にやっけていき、ビンゴが出るまで続けるが、もし、ビンゴが出ても10枚カードを引いていなければ10枚のカードを引く(こうして、最大で10個の○がビンゴシートについているようにする。) ・ビンゴがでなくても、一旦、ここで活動を終わらせて、それぞれのカードにいくつ○がついたかを尋ねる。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>1</td> <td>14</td> <td>3</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>20</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>7</td> </tr> </table> (児童は、右記のようなシートを持っている) ・手で○を作りながら“How many circle?”と尋ね一緒に数える。最大で10個の○がついていれば、それが最大なので、褒める “Well-done!” “Good job” “Fantastic!”	1	14	3	8	9	20	11	12	2	4	5	6	18	15	10	7	・1~20までの数字のカード(Activity 1で使用したもの) ・ビンゴシート(画用紙に印刷)
1	14	3	8																
9	20	11	12																
2	4	5	6																
18	15	10	7																
5 (45)	Closing	・振り返りカードに記入させる ・今日使ったビンゴカードは、次回も使用することを伝え、裏に名前を書かせて集める。																	



小学校3年生 “Fun” Time I-②

Plan 1	数えてみよう! (Part 2)		
目標	既に慣れ親しんだ英語表現(あいさつ、気分、1~20の数)を聞いたり言ったりし、友だちと交流しながら、自分と同じラッキーナンバーの友だちを見つける。		
主な言語材料	hello, how are you? I'm (happy, good, great, fine), 1-20, how many?		
準備物・教材	・1~20までの数字のカード(黒板掲示用) ・前時で使用した児童のビンゴシート		
活動場所	教室		
配時	45分		
時間	活動	詳細・教師の英語	準備物
5	あいさつ～数のおさらい	“Hello! Let's have a FUN time! ・前回同様に、黒板に1枚ずつカードを貼っていきながら、児童と一緒に数の英語をおさらいする。	1~20の数字のカード
10 (15)	How many fingers?	Let's play “How many fingers?”! <Demonstration> もし、もう1名の教師もしくはALTがいれば一緒にデモをする。教師一人だけの場合は、児童と一緒にやる。 ・2名が、「How many fingers?」と言いながら、じゃんけんのように、片手の指をだす。その時に、指を1本から5本のいくつかを出すかは自由。 ・2人の指の合計を英語で言う。 (EX) 1人は、2本、もう1人が5本だったら、「seven!」と言う。 ・速さを競わせるのではなく、しっかりと英語で数を言えるようにする。 ・発展形として、参加人数を3人、4人と増やしていくことも可能。	
25 (40)	同じラッキーナンバーの友だちを見つけよう	「では、今から、別のゲームをします。11から20までの自分のラッキーナンバーをつかってするゲームです。まずは、やり方をみてください。」 <Demonstration> もし、もう1名の教師もしくはALTがいれば一緒にデモをする。教師一人だけの場合は、児童と一緒にやる。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> A: Hello! B: Hello! A: How are you? B: I'm good. How are you? A: I'm great. (相手の持っている○の数を尋ねあう) A: How many? B: Eleven. How many? A: Fifteen. ※おはじきなどを、二人でカウントする。 違う数の時: A & B: Oh, sorry. Bye. と言って別れる。 A: Twelve. B: Twelve! 同じ数の時: A & B: Wow, Lucky Number. Bye. と行って別れる。 </div> ・デモンストレーションの後、全員で、使用する表現を確認し、言ってみる。教師は児童全員に、Hello! How are you?と尋ね、答えてもらい、教師にも同様に質問させる。 ・あいさつや気분을尋ね、持っている物の数を尋ね合って、自分と同じラッキーナンバーの人を見つけることを説明する。 ・2分間でラッキーナンバー(11~20)の数を決めておはじきなどを袋に入れる。 ・コミュニケーションの約束として *英語を使うこと *数を伝えたり、一緒に数えたりして言葉で伝えあう *アイコンタクトを確認する ・10分間で時間を切る。 ・ラッキーナンバーを変えて2回目を行う。 ・ラッキーナンバーが同じ友だちを見つけた人にその数を紹介してもらおう。 ・活動の最後に、友だちを見つけて伝え合う活動にトライしたことを褒める。	
10 (45)	Closing	・振り返りカードに記入させる ・2回の活動での感想を発表してもらう	

小学校5・6年生

外国語科



パフォーマンスタイム
ハンドブック